

With You No. 2



夏休みも終わり、2学期が始まりました。地域の学校との交流に目を向けてみると、副籍交流では、事前の打ち合わせがほぼ終了し、少しずつ地域指定校での交流が始まっています。今号では、副籍交流の記録から保護者の方々の声、高等学校での理解推進講義の様子をお届けします。

副籍交流No. 1

今年も会えたね！交流スタート！ ～副籍交流の記録より～

- 今年度も初回交流時に自己紹介をしました。当日は校長先生やコーディネーターの先生も駆けつけてくださり、温かく迎えていただきました。本人も次回の交流を楽しみにしていました。(Ⅱ中 3年)
- 自己紹介をした後に「なんでもバスケット」というゲームをしました。ルールが分からなくて戸惑ってしまうかな？と思いましたが、周りのお友達が優しくフォローをしてくれて最後まで参加できて本人も嬉しそうでした。(Ⅱ小 3年)
- 花の苗植えをしました。土に触れることが好きなのでとても楽しんでいました。皆と一緒に活動できることを喜んでいました。(Ⅱ小 4年)
- 3年目ということもあり、クラスには我が子のことを覚えていてくれるお友達も多くいて、リラックスモードでした。今年はどんな交流ができるか楽しみです。(Ⅱ小 3年)
- 学期末の大掃除で交流しました。クラスに入ると緊張した様子でしたが、時間がたつにつれて「次は何？」と先生に声をかけたりできるようになっていました。(Ⅱ中 1年)
- 教室に向かう足取りが軽やかで、とても楽しみにしている様子でした。「くるくるアート」が始まると周りの様子を見ながら色紙を取りに行くなどしていました。お友達と協力して1つの作品を素敵に仕上げることができて満足気な様子でした。今後の交流も楽しみです。(Ⅱ小 4年)

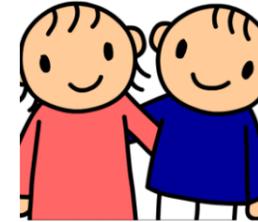


▼ 副籍学級の子どもの優しいまなざしが目に浮かびます。学年を重ねるごとに、声をかけてくれるお友達が増え、交流への期待感がふくらんで嬉しい気持ちになります。

2学期の交流活動も充実した内容となるよう、両校の学級担任、特別支援教育コーディネーター、保護者の皆様と力を合わせて進めていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

副籍交流No. 2

自己紹介カード



好きなことを紹介すると、「僕も一緒だよ！」と共通の話題ができ、交流のきっかけになります。



副籍交流で希望する方は、自己紹介カードを作成します。交流校の教室に貼ったり、先生から話したりすることで、お子さんを知ってもらう機会となります。学期に1～2回程度の直接交流でも、積み重ねることで、距離が縮まり、地域でも声がかかるなど、地域生活が豊かになる一歩となります。

理解推進講義 in 永山高校

- 7月9日(火)に永山高校の生徒会の皆さん(10名)を対象に、学校間交流に先立ち、理解推進の講義を実施しました。本校の特別支援教育コーディネーターの話に熱心に耳を傾けてくれました。
- テーマは「自分を知る 相手を知る」です。「知らないこと」は「恐怖」を生みます。恐怖は「差別」や「攻撃」を生みます。相手を知る前に、まず、自分自身のことを振り返ってみましょう。自分一人で「できない」ことは、良くないことでしょうか？もちろん、チャレンジする気持ちはとても大切です。その中で、人は皆、障害のある無しに関わらず、様々なサポートを受けて暮らしていることに気づきます。数年前になりますが、車いすの生徒が、「私は不便と思ったことはあっても、不幸と思ったことはない。」と自らのことを語ってくれました。強く心に残る言葉です。誰もが安心して、幸せを感じて暮らせる社会をつくっていきましょう。



- 生徒達の声を紹介します。
 - ・みんな一人一人(自分も含めて)何か困ったことを抱えている。自分もこうやってみんなの前で発表するとドキドキしてしまう。みんな同じだと思った。(2年生)
 - ・「知る」ことで余裕が生まれる。余裕が生まれると相手のことを考えることができるようになると思う。(3年生)